

今月のことば

いっさい ほう  
一切の法は  
みな ぶつ ほう  
皆これ仏法なり

坐禅会 毎月第1月曜夜7時半・日曜朝6時  
写経会 毎月第3月曜朝10時・土曜朝6時  
住職出演 S B S ラジオ第4土曜昼12時22分  
ラジオ コーストFM 月火水金曜 毎朝7時半

三明寺

曹洞宗認可  
参禅道場

☎(055)929-2323

三明寺 沼津 検索

沼津市大岡三明寺4051

この結果について  
疑問視する市民ら  
が、懲罰、発言取り  
消しそれぞれの撤回  
を求めて請願した。

泣き相撲大会再開と  
ウクライナに平和を

願い込めた鯉のぼり  
が長興寺に贈られる

「ウクライナの子  
ども達に笑顔が戻る  
ことを、そして、赤  
ちゃん泣き相撲大会  
が再開できることを  
祈って」と5月29  
日、大塚の長興寺  
(松下宗柏住職)に  
鯉のぼりが贈られ  
た。

同寺では例年この  
時期、赤ちゃんの健  
やかな成長を祈り金  
毘羅大権現例大祭奉  
納「泣き相撲大会」  
を開催していたが、  
コロナ禍で3年連続

で中止。

一方、世界に目を  
向けると、ウクライ  
ナの子ども達が戦渦  
に巻き込まれて日常  
を奪われ、命の危険  
にさらされている。  
これに対して同寺で  
は、ポーランドで行  
われているウクライ  
ナ難民の支援活動へ  
募金という形で支援  
している。

鯉のぼりは、販促  
企画会社オフィスグ  
ルー代表の窪野岳さ  
んから贈られたもの



で、ウクライナの青  
い空と、ひまわりの  
花が子どもの笑顔と  
共に描かれている。II  
写真。描いたのは原  
の書画家、山田浩二  
さん。泣き相撲出場  
の赤ちゃんには山田  
さんによる名前入り

の絵馬が記念品とし  
て贈られている。  
窪野さんは長年、  
泣き相撲大会の運営  
に協力しているが、  
「お祭りを開催でき  
るのは平和な日常が  
あった上でのこと。  
これまで当たり前だ  
とっていたことが  
当たり前ではないと  
気付かされた」と話  
し、戦渦もコロナ禍  
も早期に収束するこ  
とを願った。